

アグリワークポイント AGRIWORKPOINT



着花管理

果樹林産センター 青島



着花管理

青島温州などの品種は着花が多い場合、隔年結果を助長する要因となります。着花の多い樹は早い段階から摘蕾や摘果を実施しましょう。着花の多い樹

次年度の結果母枝確保のため、有葉花摘蕾を実施しましょう。葉が5枚以上の有葉花は果実品質が他に比べて劣るため、優先して摘蕾しましょう。

摘果には多くの労力がかかるため、着果状況にに応じて摘果剤の利用を検討しましょう。満開から20日後の散布が一般的ですが、天候や園地の状況により散布時期が変わりますので、しっかりと観察してから散布時期を決定します。ファイガロン乳剤は移行性があり、根からの養水分の吸収を抑制し、全体に効果が現れるため、樹勢に大きく影響します。ターム水溶剤は散布した部分に効果があり、樹勢に影響がにくい薬剤です。品種・状況に応じて薬剤を選択する必要があります。散布時はラベルの確認も行い、効果的な散布を行います。

着花の少ない樹

花と新梢との養分の奪い合いで生理落果は助長します。着果させたい花の近くの新梢を芽かき、あるいは摘芯する事で果実に分配される養分を増加させて生理落果を抑制します。

病害虫防除

灰色カビ病やそうか病が最も重要な防除となります。満開後に多雨や高湿度によって花弁の落ちが悪いと灰色カビ病に感染し、キズとなり落果してしまいう場合もあります。アブラムシは新芽が緑化する前に加害されると小葉になり光合成能力が低下します。

時期	対象病害虫	薬剤名	倍率	適正使用基準
五分咲き期	灰色カビ病	フロンサイドSC	2,500倍	30日-1回
	訪花昆虫	モスピランSL液剤	3,000倍	14日-3回
落弁期	灰色カビ病・そうか病	ナリアWDG	2,000倍	14日-3回